

# 大和中倉町内会の課題

- 若い役員の担い手が少ないため、役員の高齢化が進んでいる
- イベントを数多く開催しているが、毎回決まったメンバーが参加していて、新規の参加者がいない
- 役員の負担が大きくなってしまい、今後事業の継続が困難になってくる
- 回覧の数量や回数も多いため担当者の負担が大きい班がある
- 回覧板での事業案内はスピードが遅いうえに、最近ではスマートフォンが情報取得のツールになっているため、多くの人達が目を通さずに回してしまい、そもそも事業の周知が行き渡っていない

# 大和中倉町内会の年間事業

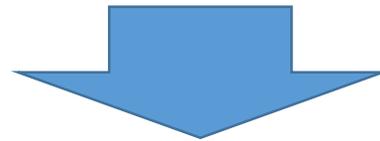
- 1月 輪投げ大会
- 3月 小学校入学児童お祝い会
- 6月 暮らしのセミナー
- 8月 夏休み陶芸教室・花火まつり
- 9月 敬老お祝い会・親睦ゴルフコンペ
- 10月 防災訓練
- 11月 もちつき大会・合同公園清掃
- 12月 クリスマス宝さがし



**イベント開催数  
10以上**

# デジタル技術の導入

- 連絡用ツールとして「LINEオープンチャット」を導入したところ、子供会等の若い世代の事業参加者は増えたが、思うようにLINEへの参加が増えず浸透にはいたらなかった
- さらに多くの人達に周知が出来るように、「LINE公式アカウント」を作成したいと考えたが、運用方法がよくわからなかった



- アドバイザーに現状を相談し、回覧板と併用して「LINE公式アカウント」を利用してみる結論になった

(選定理由) LINEはほとんどの人が利用しているため導入が容易である  
回覧板よりも周知スピードが速く、手間がかからない  
無料である程度の機能がそろっている

# LINE公式アカウント導入から運用

- 管理者を複数名にしてアドバイザーの説明を受けることで情報の共有をするようにした。
- 画面内に「リッチメニュー」を利用して使いやすさを強調するようにした（規約・総会資料・事業案内・市政だより）
- ゴミ袋クーポンを利用して友達登録の促進を図った
- イベントの案内を発信した
- 町内会館の掲示板に友達募集のポスターを掲示した
- 各イベントや理事会で登録をお願いした。
- 登録者数34名（令和7年1月10日現在）

The screenshot displays the LINE VOOOM management interface. The top navigation bar includes 'ホーム', '分析', 'チャット', 'プロフィール', 'LINE VOOOM', '拡張機能', and '収益化'. The main content area is titled 'リッチメニュー' (Rich Menu) and shows a configuration screen for a menu titled '基本メニュー' (Basic Menu). The menu items include 'リンク' (Link) and 'アクション' (Action). Below the configuration, there is a table of menu items with columns for '名前' (Name), 'タイトル' (Title), 'アクション' (Action), and '表示期間' (Display Period). The analytics section shows '友だち' (Friends) with a target reach of 34 and a current reach of 34, and 'ブロック' (Block) with 0 blocks. A line graph shows the target reach increasing from 0 to 34 over time.

名前	タイトル	アクション	表示期間
基本メニュー	基本メニュー	リンク・https://drive... リンク・https://drive... リンク・https://www...	2024/10/09 19:00 - 2026/04/30 23:59

友だち 友だち追加（経路） メッセージ通数 メッセー

友だち 30日間

ターゲットリーチ 34 ↑2

ブロック 0

# 検証

- イベント等で周知・依頼をすると大きく登録者が増える
- グーグルドライブを利用することで写真データ等のやり取りが簡単になった
- 配布書類を削減するための可能性が広がった
- 会員からの問い合わせツールとして「オープンチャット」も効果的であると感じた
- 運用管理者にはある程度のPC知識が必要だと感じた
- 「認証済みアカウント」の承認を目指したが、非承認だった

# 今後の目標

- 若い世帯の参画を増やし、役員の世代交代をすることで事業の継続を目指す
- 公式LINEの登録者を増やす。また、その他のSNSも利用して事業動画の配信も検討したい
- 地域コミュニティの価値や楽しさを広く発信して、町内会の存続を目指す